

6. 「B 差別や差別の解決に関する意識・態度スコア」別分析

(1) 人権に対する関心度（問1）

まず、人権についての関心の有無と差別や差別の解決に関する意識・態度スコアとの関係をみると、スコアが「高」グループでは、39.8%が「関心がある」としており、「少し関心がある」を加えると79.6%に達しているのに対して、「低」グループでは「関心がある」の合計は57.4%でしかない。市民の差別や差別の解決に関する意識・態度スコアと人権についての関心度とは明確な相関関係を示している。【第26表】

『あなたは「人権」について関心がありますか。』（問1）

【第26表 差別や差別の解決に関する意識・態度スコア別 人権に対する関心度】

【第26表】 (上段:人、下段:%)

	関心がある	少し関心がある	いあまり関心がな	関心がない	不明・無回答
高 N=166	66 39.8%	66 39.8%	20 12.0%	1 0.6%	13 7.8%
中 N=395	98 24.8%	151 38.2%	87 22.0%	14 3.5%	45 11.4%
低 N=155	24 15.5%	65 41.9%	45 29.0%	13 8.4%	8 5.2%
総計 N=716	188 26.3%	282 39.4%	152 21.2%	28 3.9%	66 9.2%

(2) 主要な個別の人権問題に関する基本的な意識の状況（問2）

さまざまな生活領域における人権に関わる問題の状況に対する回答者の態度・意識を聞いた(1)～(12)の質問について、「問題あり」や「どちらかといえば問題あり」と否定的態度を示したものの割合は、いずれも差別や差別の解決に関する意識・態度スコアが「高」グループほど大きな割合を示しており、かなり明確な相関関係が認められる。とくに、(1)「ホテルや旅館がハンセン病回復者などの宿泊を断ること」、(4)「障がいのある人であることを理由に、マンションなど住宅の入居を拒否すること」、(6)「犯罪被害者やその家族の氏名や住所を、本人の了解なしに報道すること」、(8)「地域住民が特別養護老人ホームや障がいのある人の施設などの福祉施設の建設に反対すること」、(10)「親の世話や介護は、女性の役割だと考えること」などの意見については、「高」グループの「問題あり」は60%以上に達している。【第27表】

『一般的に「差別」というものについて、あなたはどのようなお考えをお持ちですか。次の(1)～(12)のすべての項目についてお答えください。』(問4)

【第27表 差別や差別の解決に関する意識・態度スコア別 差別に関する基本的な認識】

(上段:人、下段:%)

		問題あり	ばど問題ありといえ	ばど問題なしかといえ	問題なし	不明・無回答
(1)ホテルや旅館がハンセン病回復者などの宿泊を断ること	高 N=166	104 62.7%	45 27.1%	7 4.2%	5 3.0%	5 3.0%
	中 N=395	159 40.3%	147 37.2%	46 11.6%	22 5.6%	21 5.3%
	低 N=155	46 29.7%	59 38.1%	35 22.6%	13 8.4%	2 1.3%
	総計 N=716	309 43.2%	251 35.1%	88 12.3%	40 5.6%	28 3.9%
(2)結婚する際に、興信所や探偵業者などを使って相手の身元調査を行うこと	高 N=166	75 45.2%	59 35.5%	20 12.0%	10 6.0%	2 1.2%
	中 N=395	95 24.1%	128 32.4%	102 25.8%	50 12.7%	20 5.1%
	低 N=155	23 14.8%	51 32.9%	41 26.5%	38 24.5%	2 1.3%
	総計 N=716	193 27.0%	238 33.2%	163 22.8%	98 13.7%	24 3.4%
(3)外国籍住民であることを理由に、マンションなど住宅の入居を拒否すること	高 N=166	79 47.6%	66 39.8%	12 7.2%	7 4.2%	2 1.2%
	中 N=395	127 32.2%	163 41.3%	59 14.9%	24 6.1%	22 5.6%
	低 N=155	29 18.7%	48 31.0%	51 32.9%	25 16.1%	2 1.3%
	総計 N=716	235 32.8%	277 38.7%	122 17.0%	56 7.8%	26 3.6%
(4)障がいのある人であることを理由に、マンションなど住宅の入居を拒否すること	高 N=166	126 75.9%	32 19.3%	6 3.6%	0 0.0%	2 1.2%
	中 N=395	192 48.6%	143 36.2%	27 6.8%	13 3.3%	20 5.1%
	低 N=155	51 32.9%	63 40.6%	22 14.2%	15 9.7%	4 2.6%
	総計 N=716	369 51.5%	238 33.2%	55 7.7%	28 3.9%	26 3.6%
(5)ニートやひきこもりの状態になるのは、本人の責任が大きいと考えること	高 N=166	44 26.5%	81 48.8%	27 16.3%	10 6.0%	4 2.4%
	中 N=395	71 18.0%	160 40.5%	94 23.8%	47 11.9%	23 5.8%
	低 N=155	26 16.8%	45 29.0%	42 27.1%	38 24.5%	4 2.6%
	総計 N=716	141 19.7%	286 39.9%	163 22.8%	95 13.3%	31 4.3%

		問題あり	ばど ち ら か と い え	ばど ち ら か と い え	問題なし	不明・無回答
(6)犯罪被害者やその家族の氏名や住所を、本人の了解なしに報道すること	高 N=166	136 81.9%	21 12.7%	3 1.8%	3 1.8%	3 1.8%
	中 N=395	290 73.4%	63 15.9%	11 2.8%	13 3.3%	18 4.6%
	低 N=155	105 67.7%	33 21.3%	8 5.2%	7 4.5%	2 1.3%
	総計 N=716	531 74.2%	117 16.3%	22 3.1%	23 3.2%	23 3.2%
(7)景気の悪化などを理由に、まず外国人労働者から解雇すること	高 N=166	78 47.0%	64 38.6%	15 9.0%	5 3.0%	4 2.4%
	中 N=395	119 30.1%	169 42.8%	59 14.9%	26 6.6%	22 5.6%
	低 N=155	26 16.8%	57 36.8%	40 25.8%	30 19.4%	2 1.3%
	総計 N=716	223 31.1%	290 40.5%	114 15.9%	61 8.5%	28 3.9%
(8)地域住民が特別養護老人ホームや障害のある人の施設などの福祉施設の建設に反対すること	高 N=166	103 62.0%	49 29.5%	9 5.4%	2 1.2%	3 1.8%
	中 N=395	189 47.8%	130 32.9%	37 9.4%	18 4.6%	21 5.3%
	低 N=155	59 38.1%	59 38.1%	24 15.5%	10 6.5%	3 1.9%
	総計 N=716	351 49.0%	238 33.2%	70 9.8%	30 4.2%	27 3.8%
(9)野宿生活者(ホームレス)が生活している公園では、子どもを遊ばせないようにすること	高 N=166	24 14.5%	56 33.7%	47 28.3%	35 21.1%	4 2.4%
	中 N=395	50 12.7%	117 29.6%	123 31.1%	84 21.3%	21 5.3%
	低 N=155	20 12.9%	26 16.8%	44 28.4%	63 40.6%	2 1.3%
	総計 N=716	94 13.1%	199 27.8%	214 29.9%	182 25.4%	27 3.8%
(10)親の世話や介護は、女性の役割だと考えること	高 N=166	127 76.5%	29 17.5%	5 3.0%	1 0.6%	4 2.4%
	中 N=395	267 67.6%	87 22.0%	15 3.8%	8 2.0%	18 4.6%
	低 N=155	80 51.6%	52 33.5%	18 11.6%	3 1.9%	2 1.3%
	総計 N=716	474 66.2%	168 23.5%	38 5.3%	12 1.7%	24 3.4%
(11)保護者が子どものしつけのために、ときには体罰を加えることも必要だと考えること	高 N=166	39 23.5%	52 31.3%	51 30.7%	21 12.7%	3 1.8%
	中 N=395	62 15.7%	106 26.8%	138 34.9%	71 18.0%	18 4.6%
	低 N=155	15 9.7%	28 18.1%	68 43.9%	42 27.1%	2 1.3%
	総計 N=716	116 16.2%	186 26.0%	257 35.9%	134 18.7%	23 3.2%
(12)教師が子どもの指導のために、ときには体罰を加えることも必要だと考えること	高 N=166	42 25.3%	44 26.5%	61 36.7%	17 10.2%	2 1.2%
	中 N=395	65 16.5%	101 25.6%	134 33.9%	76 19.2%	19 4.8%
	低 N=155	13 8.4%	31 20.0%	66 42.6%	43 27.7%	2 1.3%
	総計 N=716	120 16.8%	176 24.6%	261 36.5%	136 19.0%	23 3.2%

(3) 大阪市が取り組んでいる人権が尊重されるまちづくりに対する評価 (問3)

「大阪市では、市民一人ひとりの人権が尊重されている」と思うかについては差別や差別の解決に関する意識・態度スコアによる差異は殆ど認められない。【第28表】

『大阪市では、「大阪市人権尊重の社会づくり条例」にもとづき、多様な取組みを進めています。あなたは、今の大阪市は市民一人ひとりの人権が尊重されているまちであると思いますか。』(問3)

【第28表 差別や差別の解決に関する意識・態度スコア別 大阪市は人権が尊重されているまちであるか】

(上段:人、下段:%)

	そう思う	思いどえちばらそうと	思いどえちなばらそうと	いそう思わな	答不明・無回答
高 N=166	17 10.2%	50 30.1%	60 36.1%	33 19.9%	6 3.6%
中 N=395	39 9.9%	137 34.7%	125 31.6%	38 9.6%	56 14.2%
低 N=155	10 6.5%	62 40.0%	41 26.5%	30 19.4%	12 7.7%
総計 N=716	66 9.2%	249 34.8%	226 31.6%	101 14.1%	74 10.3%

(4) 住宅を選ぶ際の忌避意識 (問6)

住宅を購入したり、マンションを借りたりするなど、住宅を選ぶ際に、価格や立地条件などが希望にあっても忌避するのはどのような場合かについて聞いた結果は、近隣に「低所得者など生活が困難な人が多く住んでいる」、「外国籍住民が多く住んでいる」や「精神科病院や障がいのある人の施設がある」などよりも、「同和地区の区域内」や「同和地区と同じ小学校区」など、「同和地区」に関連する地域について「避けると思う」と答えたものは、差別や差別の解決に関する意識・態度スコアが「低」グループほど大きな割合を示しており、かなり強い相関関係が認められる。【第29表】

『あなたは、住宅を購入したり、マンションを借りたりするなど、住宅を選ぶ際に、価格や立地条件などが希望にあっても、次のような物件の場合、避けることがありますか。』(問6)

【第29表 差別や差別の解決に関する意識・態度スコア別 住宅を選ぶ際の忌避意識】

(上段:人、下段:%)

		避けると思う	思いどえちばらそうと	思いどえちなばらそうと	気まにっしたなくい	わからない	不明・無回答
(1) 同和地区の区域内である	高 N=166	31 18.7%	34 20.5%	32 19.3%	42 25.3%	23 13.9%	4 2.4%
	中 N=395	105 26.6%	102 25.8%	48 12.2%	54 13.7%	66 16.7%	20 5.1%
	低 N=155	75 48.4%	38 24.5%	12 7.7%	14 9.0%	11 7.1%	5 3.2%
	総計 N=716	211 29.5%	174 24.3%	92 12.8%	110 15.4%	100 14.0%	29 4.1%

		避けると思う	避けたいと思う	どちらかと思う	どちらかと思う	気まじったくない	わからない	不明・無回答
(2) 小学校区が同和地区と同じ区域になる	高 N=166	21 12.7%	30 18.1%	35 21.1%	55 33.1%	19 11.4%	6 3.6%	
	中 N=395	70 17.7%	97 24.6%	69 17.5%	75 19.0%	61 15.4%	23 5.8%	
	低 N=155	55 35.5%	36 23.2%	26 16.8%	16 10.3%	15 9.7%	7 4.5%	
	総計 N=716	146 20.4%	163 22.8%	130 18.2%	146 20.4%	95 13.3%	36 5.0%	
	高 N=166	18 10.8%	29 17.5%	40 24.1%	61 36.7%	13 7.8%	5 3.0%	
(3) 近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる	中 N=395	47 11.9%	100 25.3%	88 22.3%	93 23.5%	46 11.6%	21 5.3%	
	低 N=155	34 21.9%	49 31.6%	29 18.7%	20 12.9%	16 10.3%	7 4.5%	
	総計 N=716	99 13.8%	178 24.9%	157 21.9%	174 24.3%	75 10.5%	33 4.6%	
	高 N=166	19 11.4%	27 16.3%	41 24.7%	63 38.0%	11 6.6%	5 3.0%	
	中 N=395	46 11.6%	102 25.8%	88 22.3%	92 23.3%	47 11.9%	20 5.1%	
(4) 近隣に外国籍住民が多く住んでいる	低 N=155	35 22.6%	55 35.5%	25 16.1%	24 15.5%	10 6.5%	6 3.9%	
	総計 N=716	100 14.0%	184 25.7%	154 21.5%	179 25.0%	68 9.5%	31 4.3%	
	高 N=166	22 13.3%	20 12.0%	42 25.3%	65 39.2%	11 6.6%	6 3.6%	
	中 N=395	55 13.9%	95 24.1%	95 24.1%	74 18.7%	56 14.2%	20 5.1%	
	低 N=155	30 19.4%	45 29.0%	31 20.0%	27 17.4%	14 9.0%	8 5.2%	
(5) 近くに精神科病院や障害のある人の施設がある	総計 N=716	107 14.9%	160 22.3%	168 23.5%	166 23.2%	81 11.3%	34 4.7%	

(5) 人権問題に関する学習経験(問 12)

人権問題についての学習経験については、差別や差別の解決に関する意識・態度スコア「低」グループでは、「小学校で受けた」が 40.0%と「高」グループや「中」グループと比べて大きい。一方、「大学で」「市民対象の講座などで」「職場の研修で」「PTA など民間団体主催の研修会で」など、大人になってからの学習経験では、「高」グループと比べて明らかに小さく、かなり強い相関関係がある。【第 30 表】

『あなたは、学校、職場及び地域で、人権問題についての学習を経験したことがありますか。』（問12）

【第30表 差別や差別の解決に関する意識・態度スコア別 人権問題に関する学習経験】

【第30表】 (上段:人、下段:%)

	小学校で受けた	中学校で受けた	高校で受けた	大学で受けた	市民対象の講座などで受けた	職場の研修で受けた	PTAや民間団体の主催する研修で受けた	その他	はい	いいえ	不明・無回答
高 N=166	61 36.7%	53 31.9%	28 16.9%	16 9.6%	12 7.2%	33 19.9%	13 7.8%	6 3.6%	28 16.9%	20 12.0%	9 5.4%
中 N=395	117 29.6%	91 23.0%	46 11.6%	18 4.6%	15 3.8%	47 11.9%	24 6.1%	13 3.3%	75 19.0%	85 21.5%	36 9.1%
低 N=155	62 40.0%	43 27.7%	21 13.5%	4 2.6%	3 1.9%	16 10.3%	6 3.9%	6 3.9%	35 22.6%	23 14.8%	13 8.4%
総計 N=716	240 33.5%	187 26.1%	95 13.3%	38 5.3%	30 4.2%	96 13.4%	43 6.0%	25 3.5%	138 19.3%	128 17.9%	58 8.1%

(6) 人権意識を高めるうえでとくに役立った学習 (問 12-1)

人権問題について何らかの機会に学習したことがあるものに対して、人権意識を高める上で役立ったのはどのような機会での学習であったかを聞いたが、差別や差別の解決に関する意識・態度スコア「高」のグループでは他のグループより「職場の研修」をあげたものが多くなっているのに対して、「低」グループでは「小学校で」が 35.3%で最も多い。

【第 31 表】

『あなたの人権意識を高めるうえで特に役に立った(いちばん印象に残っている)ものはどれですか。』（問12-1）

【第31表 差別や差別の解決に関する意識・態度スコア別 人権意識を高めるうえで特に役立った学習】

【第31表】 (上段:人、下段:%)

	小学校で受けた	中学校で受けた	高校で受けた	大学で受けた	市民対象の講座などで受けた	職場の研修で受けた	PTAや民間団体の主催する研修で受けた	その他	役に立った(印象)	残った(印象)	不明・無回答
高 N=110	30 27.3%	15 13.6%	7 6.4%	7 6.4%	8 7.3%	26 23.6%	7 6.4%	5 4.5%	6 5.5%	3 2.7%	
中 N=207	61 29.5%	34 16.4%	18 8.7%	12 5.8%	11 5.3%	29 14.0%	20 9.7%	12 5.8%	19 9.2%	13 6.3%	
低 N=85	30 35.3%	14 16.5%	11 12.9%	3 3.5%	3 3.5%	8 9.4%	5 5.9%	5 5.9%	12 14.1%	3 3.5%	
総計 N=402	121 30.1%	63 15.7%	36 9.0%	22 5.5%	22 5.5%	63 15.7%	32 8.0%	22 5.5%	37 9.2%	19 4.7%	

(7) 人権意識を高めるうえでとくに役立った学習分野 (問 12-2)

同じく、人権問題について何らかの機会に学習したことがあるものに対して、人権意識を高める上で役に立った学習分野についてみると、3 グループとも「同和問題」を挙げたものが断然多く「障がいのある人の人権問題」が次いで多い一方、「高」グループと「低」グループでは「外国籍住民の人権問題」などが比較的多くあげられているのに対して、「中」

グループでは、「女性をめぐる問題」が比較的多くあげられている。【第32表】

『あなたの人権意識を高めるうえで特に役に立った(いちばん印象に残っている)ものは、どのような分野でしたか。』(問12-2)

【第32表 差別や差別の解決に関する意識・態度スコア別 人権意識を高めるうえで特に役立った学習分野】

(上段:人、下段:%)

	女性をめぐる問題	障害者がいる人の問題	高齢者の人権問題	子どもの人権問題	同和問題	外国人籍住民の人権問題	職業や雇用をめぐる人権問題	やハンセン病回復者の人権問題	その他	覚えていない、わからない	不明・無回答
高 N=103	10 9.7%	23 22.3%	5 4.9%	6 5.8%	64 62.1%	12 11.7%	5 4.9%	3 2.9%	2 1.9%	4 3.9%	2 1.9%
中 N=186	23 12.4%	37 19.9%	18 9.7%	12 6.5%	121 65.1%	13 7.0%	12 6.5%	9 4.8%	2 1.1%	7 3.8%	3 1.6%
低 N=72	6 8.3%	10 13.9%	0 0.0%	4 5.6%	49 68.1%	9 12.5%	6 8.3%	2 2.8%	1 1.4%	5 6.9%	0 0.0%
総計 N=361	39 10.8%	70 19.4%	23 6.4%	22 6.1%	234 64.8%	34 9.4%	23 6.4%	14 3.9%	5 1.4%	16 4.4%	5 1.4%

(8) 人権意識を高めるうえでとくに役立った学習形式 (問12-3)

同じく、人権問題に関する学習経験と関連して、人権意識を高める上で役に立った学習形式について聞いた結果をみると、差別や差別の解決に関する意識・態度スコア「低」グループでは、「教師や学識者による授業、講義・講演」をあげたものが63.9%と最も多いが、「高」グループでは「差別を受けている当事者や支援団体等の職員による授業や講義・講演」なども比較的多くあげられている。【第33表】

『あなたの人権意識を高めるうえで特に役に立った(いちばん印象に残っている)ものは、どのような形式でしたか。』(問12-3)

【第33表 差別や差別の解決に関する意識・態度スコア別 人権意識を高めるうえで特に役立った学習形式】

(上段:人、下段:%)

	演る教師や学識者に講よ	義や差別を授けてる職員による授業、講義・講演	たの映画の映像・ビデオなど	の等グループ討論や模擬体験の学習	スバテイおさかななど、人権問題に関する施設の見学	等たの人権問題に関するフィールドワーク	その他	か覚えていない、わ	不明・無回答
高 N=103	46 44.7%	26 25.2%	32 31.1%	6 5.8%	6 5.8%	5 4.9%	2 1.9%	5 4.9%	2 1.9%
中 N=186	92 49.5%	23 12.4%	56 30.1%	8 4.3%	12 6.5%	10 5.4%	10 5.4%	14 7.5%	6 3.2%
低 N=72	46 63.9%	4 5.6%	21 29.2%	0 0.0%	3 4.2%	3 4.2%	5 6.9%	4 5.6%	0 0.0%
総計 N=361	184 51.0%	53 14.7%	109 30.2%	14 3.9%	21 5.8%	18 5.0%	17 4.7%	23 6.4%	8 2.2%

(9) 自分自身をどのように思っているか (問 13)

自己肯定感については、一連の質問群として、相関関係をみるべきであるから、「現在、自分の生活は充実している」、「自分には、ほかの人にはないよい点があると思う」、「自分は、人とうまくやっていける人間だと思う」、「自分は、困難なことでも、何とかやり遂げることができると思う」など、自己に対して肯定的/プラス思考の質問に対して「あてはまる」に5点、「ややあてはまる」に4点、「あまりあてはまらない」に2点、「あてはまらない」に1点、「わからない」「無回答」に3点を与え、他方、「最近、自分の生活は生きづらくなってきた」、「自分は、何をやってもだめな人間だと思うことがある」、「自分は、まわりの人から期待されていないと思うことがある」、「自分の人生は、どんなに努力しても、うまくいくとは限らないと思う」など、自己に対して否定的/マイナス思考の質問に対して「あてはまる」に1点、「ややあてはまる」に2点、「あまりあてはまらない」に4点、「あてはまらない」に5点、「わからない」「無回答」に3点を与えて、回答者一人ひとりについて合計点を算出すると、最大40点から最少8点のスコアを各回答者は得ることになる。このスコアは、自己肯定 (self-esteem) 感の強さの程度を示すと考えられるから、「自己肯定意識スコア」と規定 (P. 81【表 4】参照) し、33点以上を「高」、24~32点を「中」、23点以下を「低」として、差別や差別の解決に関する意識・態度スコアとの関係をみたが、2つのスコア間に有意な関係は全く認められない。【第34表】

『あなたは、自分自身のことをどのように思っていますか。』(問13)

【第34表 差別や差別の解決に関する意識・態度スコア別 自分自身をどのように思っているか】

(上段: 人、下段: %)

自己肯定感 差別意識	高 N=186	中 N=382	低 N=148
高 N=166	45 27.1%	86 51.8%	35 21.1%
中 N=395	99 25.1%	216 54.7%	80 20.3%
低 N=155	42 27.1%	80 51.6%	33 21.3%
総計 N=716	186 26.0%	382 53.4%	148 20.7%

(10) 同和問題を知ったきっかけ(問 15)

「同和問題」や被差別部落の問題をはじめて知ったきっかけについて聞いた結果をみると、差別や差別の解決に関する意識・態度スコアが「高」グループでは「父母や家族から聞いた」とか「近所の人から聞いた」など、身近なインフォーマルな人間関係のなかで知

った割合がやや少なく、「学校の授業で教わった」が幾分多いが（これについては「低」グループと差なし）、全体としては、3つのグループの間に顕著な差異は認められない。

【第35表】

『あなたが日本の社会において、同和問題や部落問題などと呼ばれている差別の問題があることをはじめて知ったのは、どういうことがきっかけですか。』（問15）

【第35表 差別や差別の解決に関する意識・態度スコア別 同和問題を知ったきっかけ】

（上段：人、下段：％）

	いた父母や家族から聞いた	た近所の人から聞いた	い学校の友達から聞いた	わ学校の授業で教わった	た職場の人から聞いた	ど講演会、研修会などで聞いた	報府県や市町村の広報誌などで読んだ	ど聞、テレビ、雑誌、書籍など知った	たサ、インターネットのサイトなどで知った	近、あ、た、く、同、和、地、区、が、あ、つ、た	問、自、分、の、親、近、で、同、和、地、区、に、関、する、差、別、問、題、が、あ、つ、た	そ、の、他	覚、え、て、い、な、い	は、同、和、問、題、に、つ、い、て、知、ら、な、い	不、明、無、回、答
高 N=166	36 21.7%	5 3.0%	9 5.4%	60 36.1%	7 4.2%	6 3.6%	5 3.0%	19 11.4%	1 0.6%	18 10.8%	5 3.0%	4 2.4%	4 2.4%	9 5.4%	7 4.2%
中 N=395	108 27.3%	26 6.6%	23 5.8%	108 27.3%	26 6.6%	13 3.3%	12 3.0%	58 14.7%	1 0.3%	27 6.8%	9 2.3%	5 1.3%	17 4.3%	27 6.8%	19 4.8%
低 N=155	45 29.0%	6 3.9%	7 4.5%	57 36.8%	11 7.1%	4 2.6%	5 3.2%	20 12.9%	2 1.3%	9 5.8%	2 1.3%	3 1.9%	9 5.8%	7 4.5%	8 5.2%
総計 N=716	189 26.4%	37 5.2%	39 5.4%	225 31.4%	44 6.1%	23 3.2%	22 3.1%	97 13.5%	4 0.6%	54 7.5%	16 2.2%	12 1.7%	30 4.2%	43 6.0%	34 4.7%

(11) 同和地区に対する差別意識の現状(問17)

同和地区や同和地区の人びとに対する差別意識が今でも残っているか(問17)については、差別や差別の解決に関する意識・態度スコアが「低」グループの場合、「高」や「中」グループに比べて、「差別意識は現在もあまり変わらず残っている」と回答したものが多く、「差別意識は薄まりつつあるが、まだ残っている」としたものが「高」、「中」よりかなり少ない。しかし、「差別意識はもはや残っていない」と答えたものは、「中」グループでは10.3%あるが、「高」、「低」グループでは1割に達しない。【第36表】

『あなたは、同和地区や同和地区の人に対する差別意識が、いまでも残っていると思いますか。』（問17）

【第36表 差別や差別の解決に関する意識・態度スコア別 同和地区に対する差別意識の現状】

【第36表】

（上段：人、下段：％）

	ずも差別意識は現在残っている	るに差別意識は薄まっている	まだ残っているが、薄まっている	や差別意識は薄まっている	わからない	い差別意識は残っていない	無不明回答
高 N=157	17 10.8%	1 0.6%	107 68.2%	9 5.7%	13 8.3%	2 1.3%	8 5.1%
中 N=368	41 11.1%	2 0.5%	191 51.9%	38 10.3%	64 17.4%	6 1.6%	26 7.1%
低 N=148	34 23.0%	4 2.7%	70 47.3%	10 6.8%	20 13.5%	0 0.0%	10 6.8%
総計 N=673	92 13.7%	7 1.0%	368 54.7%	57 8.5%	97 14.4%	8 1.2%	44 6.5%